

# 2020 年末特訓 (12/30・12/31 2日間限定)

御三家特講 (藤島・高志・武生高校探究進学科)  
 県立・私立特講 (武生高校普通科・武生東・羽水・各私立高校)

## 年末特訓は、自分にあわせてカスタマイズして受講できる!

- 最後の追い込みをかけたい→全講座受講で、5教科の県立入試頻出ポイント&解法を最終チェック!
- 英語・数学のB問題を解ける力をつけたい→英数の講座を2日間受講して、実戦力UP!
- 点差がつく科目で失敗したくない! →国理社の講座で頻出問題を徹底演習して10点UPを目指そう!
- 年末になると、特番を見てしまう。ちゃんと勉強できる自信がない。  
→全講座受講で、1日6時間みっちり勉強! 誘惑に負けない冬休みにしよう!
- 年末以外もしっかり勉強したい!  
→「高校入試突破コース」と「年末特訓」をの両方を受講して、入試に頻出の範囲を完全網羅&実力UP!

合格まで一直線!



### ○ 実施日・時間帯

2020年12月30日(水)

A1クラス	午前	〈英数〉	9:00~12:20
	午後	〈国理社〉	13:30~16:50
A2クラス	午前	〈英数〉	9:00~12:20
	午後	〈国理社〉	13:30~16:50
Bクラス	午前	〈国理社〉	9:00~12:20
	午後	〈英数〉	13:30~16:50

2020年12月31日(木)

A1クラス	午前	〈英数〉	9:00~12:20
	午後	〈国理社〉	13:30~16:50
A2クラス	午前	〈英数〉	9:00~12:20
	午後	〈国理社〉	13:30~16:50
Bクラス	午前	〈国理社〉	9:00~12:20
	午後	〈英数〉	13:30~16:50

※各日、午前または午後で1講座となります。クラスにより教科の実施日時が異なります。

※午前・午後にまたがってご受講される方は昼食をご用意ください。

### ○ 実施校舎

福井本部長

※一般生の方は内履きをご用意ください。また制服、マスクを着用してください。

### ○ 受講料

4講座	<b>30,690円</b>	(冬期講習受講生 24,090円)
3講座	<b>25,080円</b>	(冬期講習受講生 20,680円)
2講座	<b>18,260円</b>	(冬期講習受講生 14,960円)
1講座	<b>9,350円</b>	(冬期講習受講生 7,700円)

開講クラス	※複数のクラスを受講することはできません。
① A1クラス	藤島・高志・武生高校探究進学科受験対応クラス
② A2クラス	藤島・高志・武生高校探究進学科受験対応クラス
③ Bクラス	県立高校(武生高校普通科・武生東・羽水など) および私立高校一般受験対応クラス

開講講座	※クラスにより教科の実施日時は異なります。	
英語:総合問題演習	国語:古典の融合問題演習	
数学:数量と図形の総合演習	社会:総合問題演習	
	理科:記述問題&計算問題特講	

☆ A1・A2クラスは同じ内容の授業です。A1・A2クラスの定員は各25名、Bクラスの定員は15名です。予定人数に達し次第締め切りますので、なるべく早めにお申し込みください。

☆ 冬期講習(高校入試突破コース)とは別申込になります。お電話、もしくは直接校舎までお申込みください。

※受講料はお申込みの際に振込用紙をお渡しいたします。お近くの郵便局でお支払いください。

☆ お申し込み後のキャンセルや変更はできません。また、欠席された場合、振替や返金はいたしかねますのでご了承ください。

<送迎の際のお願い>

校舎周辺の建物や交通の妨げにならないようご注意ください。特に、他施設の駐車場には駐車できませんようお願いいたします。

## 県立入試のちょっとした話

近年、福井県の県立高校入試では、どの教科でも記述問題の量が増加しています。また、丸暗記では乗り越えられない、複数の資料から情報を読み取る問題や、身近な現象の論理を説明する問題などの、新しい出題形式の問題も毎年出されています。過去問の形式とは全く違う出題形式に変わることも珍しくないため、さまざまな問題を経験しておく必要があります。

1日目の科目は、国語・英語・数学の3教科。国語の作文や英語の英作文は他県に比べて配点が高く、減点されない書き方を身に付けて、はやく正確に解答する必要があります。数学は「できた!」という実感を抱きにくい教科です。1日目が終わった段階で落ち込んで、精神的に挽回できない受験生も少なくありません。

2日目の理科と社会はまさしく合否をわける勝負どころ! 昨年度の理科の平均点は「51.7点」、社会の平均点は「54.8点」でした。意外と低いと感じた人も多いのではないのでしょうか。資料を読みとる問題や記述問題が増加し、そのぶん、用語の暗記のみで解ける問題の量が減ったため、高得点をとるには、演習量UPはもちろん、解いた問題のフィードバックをすることが重要になります。

